公益財団法人橘秋子記念財団

令 和 7 年 度 事 業 報 告 書

自　令和７年４月　１日

至　令和８年３月３１日

１　公益目的事業の実施状況

（１）バレエ芸術の優秀な成果に対する表彰

ア　橘秋子賞及び牧阿佐美賞

令和６年度に選考委員会を経て決定した授賞者２名（第４２回橘秋子賞：金森穣氏、第２回牧阿佐美賞：福岡雄大氏）の授賞式を令和７年５月１３日（火）に九段会館テラスコンファレンス&バンケットで行い賞状及び賞金を授与した。

イ　埼玉県舞踊協会主催による第５７回埼玉全国舞踊コンクール２０２５の７部門（モダン１部、モダンジュニア部、モダン２部、創作舞踊部門、クラシック１部、クラシックジュニア部及びクラシック２部）のそれぞれ第１位受賞者に対し、（公財）橘秋子記念財団賞として盾（ブロンズ）を授与した。

（２）優れたダンサー等に対する奨学金の授与

令和６年度牧阿佐美バレエ塾の塾生オーディションにおいて選考した２名に対し引き続き盛田正明スカラシップを授与し、授業料を免除するとともに奨学金を支給した。

（３）バレエ公演の開催

ア　第１１回牧阿佐美バレエ塾発表会を令和７年４月１日（火）文京シビックホール大ホールにおいて実施した。参加人数は１９名（うち塾生３名、スカラシップ生２名、小・中学生コース１０名、賛助出演４名）で、入場者数は３４１名（うち招待５２名）であった。

イ　第１２回牧阿佐美バレエ塾発表会を令和８年３月２０日（金・祝）文京シビックホール大ホールにおいて実施した。参加人数は１４名（うち塾生２名、スカラシップ生２名、小・中学生コース６名、賛助出演４名）で、入場者数は２９０名（うち招待６６名）であった。

ウ　第５０回ジュニアバレエ公演を令和７年８月１３日（水）に実施し、参加人数は７７名（うち生徒７５名、ゲスト２名）で、入場者数は７４９名（うち招待５０名）であった。

（４）　国内外のバレエ教師・振付家等の招聘

本年度は、バレエ教師等の招聘によるワークショップは実施しなかった。

（５）児童のためのバレエ芸術の指導（日本ジュニアバレエ）

ア　東京会場では１１３名に対し月３回、新潟会場では１３名に対し年１９回、バレエの指導を行なった。また、新入生オーディションを令和７年９月２３日（火・祝）に実施し、３０名の応募があり、２８名が合格した。

イ　外部出演として、（公財）新国立劇場運営財団が制作する「不思議の国のアリス」（令和７年６月１２日から２４日の間の１３公演、４名）同「シンデレラ」（令和７年１０月４日から２６日の間の１４公演、１１名）、同「くるみ割り人形」（令和７年１２月１９日から令和８年１月４日の間の１８公演、１２名）、同「マノン」（令和８年３月１９日から２２日までの間の６公演、２名）の４公演に出演した。

（６）青少年に対するバレエ芸術の後継者の育成（牧阿佐美バレエ塾）

ア　牧阿佐美バレエ塾の塾生（年齢１５歳～２２歳）４名に対してバレエレッスン及び教養講座４科目を８月の夏休みを除いた１１か月間実施した。

イ　小・中学生コース（小学４年生～高校１年生）は１５名に対して水曜日、木曜日及び土曜日において各月３回のバレエレッスンを行った。

ウ　夏休み特別クラスは、令和７年７月２８日（月）及び２９日（火）の２日間実施し、小学４年生から６年生のクラスが１２名、中学生クラスが４名、高校生以上のクラスが９名、大人クラスが４名の受講があった。

エ　冬休み特別クラスは、令和７年１２月２９日（月）から３０日、令和８年１月２日から４日（日）までの５日間実施し、１０歳から１３歳のクラスが１５名、１４歳以上のクラスが２１名、大人クラスが１０名の受講があった。

（７）バレエの普及振興のための事業

バレエ芸術に関する資料として主要なバレエ雑誌である『Clara（クララ）』、『Croisé（クロワゼ）』及び『DANCE MAGAZINE（ダンスマガジン）』等を収集し、最新号は閲覧に供した。また会報誌「エスカイア」について、本年度は発行しなかった。

２　法人の運営体制の充実を図るための取り組みについて

本年度から内部規程等の整備状況について点検を進め、未整備であった個人情報等管理規程を制定するとともに、個人情報等の取り扱いについて法人内部に周知し、併せてホームページの SSL 化を行い個人情報を含むデータの保護に万全を期した。

令和７年度事業報告の附属明細書

令和７年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第３４条第３項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。